

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・アパレル業界、特に紳士部門については非常に厳しい状態である。当社においては各ブランドで毎月の企画を打ち出して来店を促しているが、今月は特にダイレクトメールも発送している。 ・売上が前年比106%と引き続き好調である。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・新規投資を行い、先月末に新しい展示物が完成したことを受け、予想を上回る来客数を記録している。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・3～4月に新学期商品の販売を行ったが、追加で買う客が思った以上に増えており、景気の悪い割に子どものためには購入するという印象を受けている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・長期間前年割れが続いていた婦人服が、昨年実績をクリアできているのが大きな要因となって、ほぼ前年並みの売上が確保できている。
		スーパー（経営企画担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク期間中に天候に恵まれた上に、前半に販促を強化した効果があり、前年を上回る集客と売上が確保できている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・天候不順ではあるが、それでも全体としては暖かくなっているため、販売量が上がっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・ゴールデンウィークに天候が大変良かったので、客数、販売共に昨年の5月より大分良くなった。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・購買者数が約20%減少したが、客単価が増加したため、販売額は前年比で変わらない。
		衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・そろそろ夏祭りに向けての需要が出てきて、客の注文も多少入ってきている。また、個人客の動きもやや活発になってきている。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・新製品の動きは良い。
		観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・前年同期比で売上がやや伸びて、前年比115%である。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・4月で下げ止まりが見えてきて、5月の深夜の動きは悪いが昼間の動きはやや良くなり、前年同月比で4%の増収となっている。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・天候不順には参ったが、各企業のコンペの予約が目立って入っている。
		ゴルフ場（業務担当）	販売量の動き	・微増だが、食堂、売店などのオプションを設定したのについて興味を持ってもらっている。
その他サービス [立体駐車場] (従業員)	単価の動き	・単価はずっと横ばいだったが今月になって5%くらい上向いている。来客数も前年比1割くらい増えており、その分、総売上も増えている。また、今年になってから追加募集した月極の契約も順調に上向きに転じて、4%くらい上向いている。		
変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは天候に恵まれ人出は良かったが、その後は極端に暇になってしまった。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・農家が忙しいせいか地方からの注文も無く、人も来ない。商品の動きがなく閉口している。	
	一般小売店[精肉]（経営者）	お客様の様子	・大型スーパーの閉店セールが始まったが、このところの天候不順で、夏日もあれば冬も来るような毎日なので、特に、高齢者の客はついていけない。食品も高値で動いているようで、買い控えている状態である。	
	一般小売店[家電]（経営者）	販売量の動き	・気候変動が激しく、夏物商品の動きが悪い。エコポイント制度対象商品も一服状態である。	
	一般小売店[家電]（経営者）	お客様の様子	・3月のエコポイント絡みの駆け込み需要の反動か、テレビの動きは良くない状況で、相変わらず消費者の購入意欲は見られない。アナログ放送終了を1年後に控え、修理よりは買換えで商品の動きがある。	
	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・価格競争は依然として続いている。	
	スーパー（総務担当）	単価の動き	・売上と来客数の落ち込みは鈍化しているが、回復には至っていない。客単価は前年並みになっている。	
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・4月に改装して、売り場をかなりきれいにした結果、衣料、食料品ともほぼ前年程度は確保できているが、これによって110～120%増というような大きな変化や特別な伸びがあるということはない。	

スーパー（統括）	販売量の動き	・ゴールデンウィークは天候に恵まれ、食品、衣料共に非常に好調であったが、中旬以降の冷え込みと共に、衣料品の売上高は下降気味となり、食品も不安定な売上動向となっている。
コンビニ（店長）	単価の動き	・来客数は3か月前に比べて増えているが、客単価は大分下がって来ているのであまり変わっていない。
家電量販店（店長）	それ以外	・3月のエコポイント絡みでテレビの駆け込み需要があり、予想以上の販売数量増で商品が無くなり、その後のエコポイント需要に対応できていない。供給が回復しないと販売数量が増えず、厳しい状況が解消されない。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・9月末日までエコカー補助金制度が延長されたが、現在、購入を考える客は非常に少なくなっている。
乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・自動車販売と車検、点検を一緒にやっている。今までは、2年に1回の車検に対し客はあまり値段のことは言わなかったが、ここに来て、安売りの車検業者に持って行かれるなど、かなりの分を逃しており、昨年に比べると10%ぐらい在庫車が減っている。その代わり、点検、一般の板金等が増えているので、全体としては変わらない。
乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・とにかく高額車両が売れず、ここ何か月も高額な新車、輸入新車などは全くと言っていいほど売れていない。比較的安い車は多少動いている。
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量はやや増えているが、修理、客数等についてはやや落ち込んでいるので、両方合わせると差し引きゼロである。世の中では良くなりつつあるという話があるが、実体験としてはそのような感じはない。
住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・天候不順で季節商材の動きが鈍い。ゴールデンウィーク期間中は客数、買上点数共に前年を上回ったが、それ以降は大きくマイナスである。特に雨天の日の客数は大きく減少してしまう。3、4月の季節商材のマイナスを5月でカバーする計画を立てたものの、3、4月ほどではないが5月単月でも前年を割ってしまった。
住関連専門店（開発業務責任者）	販売量の動き	・依然として買上点数が減少しており、さらに天候不順による点数減が見られる。
一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・同業者の話は景気が回復していない話ばかりで、それぞれ売上10%くらい減との話である。
スナック（経営者）	来客数の動き	・宴会の動きも、フリー客の動きも低調のままで、上がって行く兆しが無い。歩行者の通行量も年々落ちていっているようで、夜間の車の通行量もかなり少ないまま落ち着いた感じさえする。町全体の活気が失われ続けている。
観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・周辺有名観光地への来客数が思いのほか伸びず、アジアからの訪日外国人旅行者だけが好調で、国内のツアー客、マイカー共に伸びていない。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・自動車関係企業のコスト抑制が続いており、下請、孫請に対する締め付けがあるのか、相変わらず出張に関して厳しい状態である。
都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・ここ何か月かビジネスの動きが悪く、ビジネスマンの宿泊が減っている。会食や宴会の需要も継続して悪い。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・昨年は善光寺の御開帳もあり、観光客が沢山訪れていたが、今年はそれも無く、来客数が非常に減っている。そうしたことから必然的に売上も悪くなって、悪循環になっている。
旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・企業や各種団体については大きな動きがないが、個人客は少し動きが出てきている。ただし、高速道路料金引下げ利用などの安近短が目立ち、インターネット利用も多い。3か月前に比べ、景気はわからないが、客の動きは少しずつではあるが動き始めている。
通信会社（経営者）	販売量の動き	・売上アップとまではいかないが、年度内受注予定の見積案件が多少動き出した。今までの低迷があるので良くなったとはいえないが、兆しは見えてきた。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・ゴールデンウィークは昨年より消費傾向は上向いたが、その後反動もあり、月を通すと例年並みである。

	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・昨年に比べ、今夏の会社員のボーナス支給が明るい見通しにある一方で、ボーナスどころか基本給さえいまだに減り続けている会社もある。一日の勤務後、アルバイトで生活費を生み出している大変な現実も見逃せない。
	通信会社（局長）	販売量の動き	・販売数は横ばいで、変化はない。ただし、販売に至るまでの難易度はやや高くなっている。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来客数が若干前年より少なくなっている。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・購入単価、来場者数とも上昇傾向が見られない。
	美容室（経営者）	それ以外	・美容院では店の格差が大きくなっている。繁盛していない店は、組合を抜ける人が多くなり、組合費まで回らないほど悪くなっている状況である。少しだが、繁盛している店が徐々に出て来ている。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・個人住宅建築の照会や相談が皆無であり、周りを見ても、住宅の建築現場が見当たらない。その他の大型物件についても同様である。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・相変わらずあまり変化はないが、建築関係については、国の補助事業に関わる福祉関係の情報が入って来ている。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・今月はイベント等があり、来客数の多い月だったため、契約申込みも割りとあったようである。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注量は横ばいの状況がずっと続いており、景気が悪くなっているとは思えないが、良くなっているという実感もない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・客の来店率が前年比83%となっている上、年配者が多く、若い人の来店が少なくなっている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは天候が良かった分、街中の人出はどこかへ連れ去られてしまい、がらんとした毎日であった。母の日のイベントも前年実績に届かず、回復の兆しは全く感じられない。
	一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・基本的に来客数がかかなり落ちており、客単価についても、必要最小限の品物しか購入されていない。
	百貨店（総務担当）	競争相手の様子	・市内の競合店である大型食料品スーパーが撤退したが、閉店セールの影響による売上減はない。今後は、日用品や食料品ギフトの売上増を多少期待できる反面、明日は我が身だと考えると、全体の状況は悪い。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・来店客数が昨年を4%弱下回っている。買上点数を増やすことで前年の売上は確保できてはいるが、近年になく厳しい状況である。地元の祭の与件も期待したほどプラスにはなっていない。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・依然として、エコカーの販売台数が伸びているだけで、全体の販売台数は増えていない。
	高級レストラン（店長）	販売量の動き	・ゴールデンウィークに期待していたが、連休明けの販促等で多少良かったものの、後半は伸び悩み、結局、前年を大きく割り込む結果となっている。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ランチの客は予想より少し下回っているもののそれなりに多い。夜の来客数は少なく、客単価も低い。
	旅行代理店（副支店長）	販売量の動き	・通常ゴールデンウィークが終わると夏休みの商戦期に入るが、今年度はタイの暴動や朝鮮半島情勢の不安などにより、予約が伸び悩んでいる。特に韓国に関しては今まで一定程度好調に推移していただけに、今後の減少が心配である。
	通信会社（経営者）	販売量の動き	・消費者の購買意欲が全く感じられない。
	その他サービス〔フィットネスクラブ〕（マネージャー）	単価の動き	・低価格のキャンペーンに反応する女性客の獲得ができていない。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・最近1か月間、別荘に関する資料請求や来客が無い。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・問い合わせが増えて来たが、真剣味がない冷やかしのようなものも増えて来ており、買い控えがまた始まったようである。
悪くなっている	一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・地域の中で景気が悪いという情報が流れていて、販売量の動きが無い等の悪い状況が続いている。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・天候不順で個店でのイベントには誘客が難しい。

		衣料品専門店 (販売担当)	お客様の様子	・客は、値段が高いと言うだけでなく、品物はすごく良いが買えない、金を使えないと口々に言っている。2,900円均一の商品を出しても、それでも客は考えるぐらい、精神的なゆとりが無くなっており、買い控えの原因は、品ぞろえの善し悪しではなさそうである。
		都市型ホテル (スタッフ)	単価の動き	・ますます不景気になっている状態にあり、単価が安いものから埋まってきている。ネット関係も極端に安くすれば一時は入るものの、値段が高いと入らず、実際の宿泊客が増えてきている。これから夏場に掛けて非常に値段等が危惧される。
		遊園地(職員) 住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き 競争相手の様子	・20代を中心としたグループ客が伸び悩んでいる。 ・分譲地等では引き合いが無く、売出しをやっても客がほとんど来ない状況である。また、アパート、マンション等についてもほとんど引き合いが無く、非常に安い賃料での下落物件だけがちらほら決まっている。テナントについてもほとんど引き合いが無い。
企業 動向 関連	良くなっている	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・当社の場合は特殊車両、産業機械、工作機械とも大手4社の取引先だけに、落ち込むのも早かったが持ち直しも非常に早く、5月でも受注がリーマンショック以前にまで戻っている。産業機械は、新興国や韓国最大の電機メーカー等からの受注が多く来ている。
		輸送用機械器具製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べても非常に高水準で受注が増えている。親会社の方では輸出関係が良くなっているため、自動車関係の部品製造会社は非常に良い。
		その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き	・顧客プラントが積極的に仕事をこなしているため、新型機の開発希望が多く、また海外プラントの話が出ているため良くなっている。
	やや良くなっている	食料品製造業 (製造担当)	受注量や販売量の動き	・チラシを打ち、特売単価で毎週載せてもらっているため、動きはそこそこ良い。ただ、特売単価でなくては物が動かないのが気になる。
		一般機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・取引先は急な増産に対し、以前のように簡単に人材派遣等で対応出来ない状況であり、当社に対して増産に伴う応援加工依頼が数社から舞い込んできている。また、しばらく注文が無かった製品も少し動きがはじめてきた。
		電気機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・取引先2社から、間に合わないから応援をして欲しいという依頼があったが、1、2か月の短期的な仕事であったため断っている。当社以外では結構景気は上昇しつつあるような気がするが、当社は相変わらず低空飛行である。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・10社ほどある取引先のうち、3~4社は仕事が大幅に出てくるようになり、景気が良くなってきたような感じがしている。
		金融業(経営企画担当)	取引先の様子	・観光地においては、ゴールデンウィークは天候にも恵まれ観光客の出足は好調であった。外国人観光客においても新型インフルエンザの影響が無くなり着実に元に戻りつつある。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・こここのところ不動産登記がいくぶん出てきた。そのへんが従来と比較して変わってきたところである。このまま上向いてくれれば良い。
		その他サービス業[情報サービス](経営者)	受注量や販売量の動き	・情報化投資に対して現状システムの改善や、新規の引き合いが増加傾向にあり、若干の持ち直しが出て来た。
変わらない	食料品製造業(営業統括)	取引先の様子	・ダンボールや瓶などの取引先の様子から判断して、ワイン業界の出荷状況は相変わらず低調である。	
	化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・5月は休日が多かったため、稼働日数が少なく売上大幅にダウンしている。土木建築に回復の兆しがまるでないのでどうしようもない。	
	一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・部品加工業は海外生産がどんどん増えるばかりで、受注量がどんどん減っていて大変心細い。	
	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・一時的な忙しさも2か月で収束し、また元の厳しさに戻りつつある。しかし最も厳しかったときに比べればまだ良い。	
	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・全般的な景気が良くない中で、当社の主要客先の取扱い商品は優先順位が低く、売行きも今一つ上昇にならない。当然、当社の受注も伸びが無い。	

	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・天候不順等による夏物家電の出だしの遅れや、青果物の輸送、出来高量の低下により、前年を下回っている状態である。しかしながら、子ども手当等による消費回復の予測もあり、少しずつ荷動きは良くなっている。特にネットショップ、テレビショップ、ホームセンター向けの荷動きは良い。しかし、燃料コストの高騰により厳しい状態が続いている。	
	金融業（総務担当）	取引先の様子	・受注はある程度はあるが、入札や受注価格の下落傾向は相変わらず続いていると、取引先が話している。	
	不動産業（営業担当）	競争相手の様子	・新しいホテルができると新しい方に客は流れるが、地域に入ってくる人の数は増えていないので、その分他のホテルが厳しくなるという状況である。また、自社物件の賃貸アパートに行くと、入居状況がずっと変わらず、伸びない。	
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・広告出稿の量は、ほとんど変わっておらず、同業他社とのゾリ貧の見積競争が続いている。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・小規模運送会社では、今年に入り減便し、今月はとうとう社長自らの1台となってしまった。また、暑さと寒さが極端で天候が定まらず、夏物衣料の売行きは低調だと聞いており、景気に関する報道とは裏腹に、小売、物流などは低調である。今月のチラシ出稿量は94.6%と低迷している。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・大手企業、輸出企業等の業績回復の影響は、下請企業、地場産業、地域経済に及んでいない。地域の中小企業のほとんどははまだ資金繰りにあえぎ、借入金返済のリスケジュールや買掛金の支払引き延ばしでしのいでいる。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・人員整理は少なくなり、残業するところ等も出てきてはいるが、現状の人員で十分であり、新規採用などの動きにはまだほど遠い。	
やや悪くなっている	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・金地金の高騰は販売不振に輪をかけて収益を悪化させている。貸金業法の改正も展示会の売上に響いて、5月の売上は大きく減少している。	
	金融業（役員）	取引先の様子	・製造業において設備投資意欲が全く見られない状況にある。	
悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・受注の動きが全く無い。	
	建設業（総務担当）	それ以外	・公共工事主体で土木、舗装工事を行っているが、受注金額は前年比104.3%を確保出来た。ただ受注に関しては、同札によるクジ引きが続き、受注確保のため工事原価計算上、赤字の現場と分かっているが、受注に走らざる得ない状況であり、工事終了後に赤字になる現場が何件か出てきており、決算に影響が出そうなので心配である。	
	通信業（経営者）	受注量や販売量の動き	・定期の仕事以外は受注出来ず、新規の仕事が発生しない。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は増加傾向であるが、派遣求人が目立つ。派遣求人は製造業関係が増えており、家電販売の会社の求人も増加傾向である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・商工会議所の景気観測調査を見ると、家電業界、自動車業界関連企業では受注の増加、回復が見られるが、生産高は依然として厳しい状況であり、求人の動向が大変気になる。
変わらない	人材派遣会社（経営者）	雇用形態の様子	・求人広告は、住宅、介護、自動車関連の電気や部品組み立ての募集が目立ったが、採用面では大分絞られており、かなり渋い状況である。ガソリン価格はここに来て2～3円ほど落ちて来ており、落ち着いたと思われる。良い材料としては、住宅の増改築や新築が目立ってきている。	
	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	・求人数が多くなったり、減ったりして売上がほとんど変わらない。	
	人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・企業側の採用意欲は回復しつつあるが、一方で、求職者数も多い。このことから、働く意欲と、働き先が一致していないことがうかがわれる。	
	人材派遣会社（管理担当）	周辺企業の様子	・派遣先企業からはコストダウンと短期契約の要請があり、契約は継続しているが、不安要素も多々ある。	

	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・4月は多少求人数が増加したものの、今月は求人広告企業数が少なくなり、雇用の面ではまだまだ厳しい状況である。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求職者数が前年同月比3.4%減少となり、徐々に減少する傾向を見せ始めているが、新規求人数の動きが鈍い。パート、臨時等でわずかながら同比增加となっているが、常用では前年並みの水準で停滞している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・平成22年3月の新規求人数は、前月に比べ10%減少となったが、前年同月比では同水準である。
	学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・新入社員を採用したいという話は来るが、具体的な採用計画は決定されていない会社が多く、全体的に今後の景気状況を見ている様子である。
やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の基幹産業である製造業、サービス業、運輸業等のほとんどの産業で、前月比10%以上求人が減っている。
悪くなっている			